

日本人とのこくさいけっこん #N4 #N5

動画URL : <https://youtu.be/XP2DAsN12vM>

今回は"日本人とのこくさいけっこん"を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に"ふりがな"はありません。
学習にお役立てください。

■はじめに

こくさいけっこんは、外国の人とけっこんすることです。さいきん、日本人のじょせいとけっこんする外国人のだんせいがふえています。日本に仕事やりゅうがくで来る外国人が多くなり、日本人と出会うきかひもふえてきました。こくさいけっこんでは、文化やことばのちがいをこえて、たくさんの人たちがしあわせにくらしています。

こくさいけっこんには、たくさんのメリットとチャレンジがあります。このどうがでは、外国人だんせいの目線、こくさいけっこんについてのけいけんや考えをしょうかいします。日本での生活や、文化のちがひ、そしてしあわせなけっこん生活を送るためのコツについて、いっしょに学びましょう。

■出会いのきっかけ

外国人のだんせい、日本人のじょせいと出会うきっかけはいろいろあります。ぼくの場合、出会いのきっかけは「ペアーズ (pairs)」という有名なマッチングアプリでした。

マッチングアプリとは、オンラインのれんあいサービスのことです。

ぼくは韓国人で、今31さいです。

日本には27さいのときに来ました。

日本に仕事で来たばかりころは、友だちも少なかったです。

そのときは、日本語もまだあまり話せなかったのですが、29さいのときに、新しい友だちをつくりたいと思ってこのアプリを始めました。

ペアーズは、とても人気があるマッチングアプリで、たくさんの人が使っています。

日本では2,000万人くらいの人たちがつかっているそうです。

このアプリのいいところは、プロフィールを細かく設定できることです。プロフィールには、自分のしゅみや好きなこと、しょうらいのゆめなどをくわしく書くことができます。また、いくつかの写真をアップロードすることもできます。これによって、自分のことをよく知ってもらうことができます。

ぼくはプロフィールをていねいにつくって、いくつかの写真もアップロードしました。

さいしょはちょっときんちょうしましたが、すぐにいろいろな人からメッセージが届きました。メッセージが届くと、とてもうれしい気持ちになります。

ペアーズでは、きょうつうのしゅみやきょうみを持つ人とかんたんに出会うことができます。ぼくは、日本の文化や食べものにきょうみがあったので、それをプロフィールに書きました。すると、日本の文化にくわしい人や、同じように外国の文化にきょうみを持っている人からメッセージが来るようになりました。

その中で、とてもやさしくて、いろいろなことを話せる日本人のじょせいと出会いました。

彼女と出会ったときぼくは29さいでした。

彼女は31さいで、ぼくよりも2つ年上です。

彼女もまた、外国の文化にきょうみがあり、英語や韓国語を学びたいと思っていました。出会ったときに、けっこうじょうずに韓国語を話していたのでぼくはとてもおどろきました。

彼女はよくNetflixで韓国ドラマをみたりしてれんしゅうしたそうです。

彼女は、韓国の文化やことばにとっても興味を持っていました。さいしょはメッセージのやりとりだけでしたが、おたがいにきょうみを持つようになり、ちよくせつ会うことにしました。

これまでアプリのメッセージでしか話したことがないので、ちよくせつ会うことはドキドキしました。

ぼくたちはきちじょうじというえきの近くにあるカフェではじめて会いました。

「はじめまして」とかんたんなあいさつをして、いっしょにコーヒーをのみながら、たくさん話をしました。

あっ、ぼくはコーヒーでしたが、彼女はミルクティーをのみました。

彼女はとても話しやすく、いろいろなことを教えてくれました。その日から、ぼくたちは何度もデートをしました。

もっとおたがいのことを知りたいと思っていたからです。ぼくたちは、いっしょにえいがをみたり、日本の祭りに行ったりしました。そのたびに、日本の文化やしゅうかんについて彼女がいろいろ教えてくれました。

とてもうれしかったし、楽しくて、そしてしあわせな時間でした。

ペアーズでの出会いをきっかけに、ぼくたちはけっこうんすることになりました。インターネットをつうじて、いろいろな文化やことばのちがいをこえて出会うことができるのは、とても素晴らしいことだと思います。もし、あなたも新しい友だちやパートナーを探しているなら、ぜひペアーズをためしてみてください。きっと、素晴らしい出会いが待っています。ただし、ペアーズにかぎらず、そういう出会いのばしょには男性も女性も、外国人も日本人も、ときどき変な人がいるのでちゅういをしたほうがいいです。

ペアーズのことは、このどうがのがいようらんにきさいしておきますので、きょうみがある人はかくにんしてみてください。

■文化のちがい

外国人のだんせいとして日本に住み始めると、たくさんの文化のちがいにおどろくことがあります。さいしょにおどろいたのは、あいさつのしかたです。日本では、おじぎをしてあいさつをします。韓国でもおじぎをしますが、日本のおじぎはとても深くてていねいです。はじめはぎこちないかんじがしましたが、だんだんとなれてきました。

また、食事のマナーも大きなちがいの1つです。日本では、ごはんを食べるときに「いただきます」と言い、食べ終わったら「ごちそうさまでした」と言います。このしゅうかんはとてもすてきだと思いました。食事のときはしの使い方や、料理をシェアする方法も日本ならではのものです。ぼくは、彼女の家族といっしょに食事をするとき、こういうマナーを覚えてもらいました。

ことばのちがいも大きなチャレンジでした。日本語は韓国語と文法がちがうので、さいしょはとてもむずかしかったです。でも、彼女がやさしく教えてくれたり、いっしょに日本語のべんきょうをしたりして、少しずつ話せるようになりました。たくさんの人のおかげで、今

では日本語検定2級です。今年の11月に1級のしけんを受けます。受かるためにたくさんべんきょうをがんばっています。

また、彼女も韓国語にきょうみがあったので、いっしょに韓国語を学ぶことも楽しみの一つでした。

日本の生活しゅうかんにもおどろきました。たとえば、日本では家の中でくつをぬぐしゅうかんがあります。韓国でも同じしゅうかんがありますが、日本の家では、げんかんにスリッパが用意されていて、家の中ではスリッパをはくことが多いです。

それに日本の家のげんかんは、韓国のげんかんより広くて使いやすいことが多いとかんじました。

また、日本のお風呂の使い方も韓国人のぼくからみたらとても変わっていると思いました。韓国ではシャワーをするだけの人が多いです。

そもそも、韓国の家には、ゆぶね（よくそう）がないことも多いです。

韓国では汚れをおとしたり、あついじきにすずしくなるために、シャワーをあびたりします。

しかし、日本人はお風呂の時間をとても大事に考えています。

日本人にとってお風呂の時間はリラックスをして心も体も休める大切な時間なのです。

日本人がお風呂に入るとき、ゆぶねに入る前にシャワーで体を洗い、ゆぶねのお湯は家族みんなで使います。これも、日本ならではのしゅうかんで、さいしょはともしんせんでした。

こうした文化のちがいになれていくためには、オープンマインドでいることが大切です。ぼくは、日本の文化やしゅうかんをそんちょうし、せっきょくてきに学ぶようにしました。そして、彼女もぼくの文化をそんちょうしてくれました。おたがいにりかいし合い、学び合うことで、文化のちがいをこえて、より深いかんけいをきずくことができました。

文化のちがいを楽しみながら、おたがいに学び合うことができるこくさいけっこんは、ぼくらの人生にとってとてもすばらしいけいけんだと思います。

■日本での生活

日本での生活は、とても楽しいものですが、もちろんすべてがじゅんちょうというわけではありません。ぼくたちは、いっしょにたくさんのかんことを楽しんでいますが、同時に多くのチャレンジにも直面しています。

たとえば、日本にはたくさんの祭りがあります。春にはさくらを見に行く「花見」、夏には花火大会、秋にはもみじがり、冬には雪祭りなど、きせつごとにいろいろなイベントがあります。

これらの祭りに彼女といっしょに行くことは、とても楽しいたいけんでした。しかし、祭りやイベントのときには、人ごみが多く、外国人としては少し大変に思うときもありました。また、日本の文化やルールにしたがうことが求められるので、さいしょはとまどうこともありました。

ぼくたちはえいがをみたり、旅行に行ったりするのが好きですが、ことばのかべは大きなチャレンジです。

彼女は、よくNetflixで韓国ドラマをみるので、ぼくもいっしょにみます。

逆にぼくが日本のえいがやテレビをみるときには、ことばのりかいがむずかしいことがあります。じまくがない場合は、彼女がつうやくしてくれることもあります。それでも完全に楽しむのはむずかしいことがあります。

日本の生活も、ぼくにとって新しいけいけんのれんぞくでした。日本の家は、韓国の家とちがうところがたくさんあります。

たとえば、日本の家では、げんかんでくつをぬいで、スリッパをはくのがふつうです。また、おふろの使い方も日本人以外の外国人からすれば変わっていると思います。ゆぶねに入る前にシャワーで体を洗い、ゆぶねのお湯は家族みんな使います。こうしたしゅうかんになれるのには少し時間がかかりましたが、今ではとても気に入っています。しかし、おふろのおんどや使い方にさいしょはおどろきました。とくにお風呂のお湯はすごくあつくてなれるまで入ることができませんでした。

でも、このお風呂はみんなで入るものなので、ぼくだけの考えで水を入れてぬるくしないほうが良いと思って、水をいれないようにしました。

今ではあついお湯にもなれて、すごく気持ちが良いですが、はじめのころは「日本人はよくこんなにあついお湯に長い時間入っているなあ。すごいなあ」と思っていました。

家事のやりかたについても、おたがいのしゅうかんや考え方がちがうことがありました。

仕事や社会生活でも、たくさんのあたらしいことを学びましたが、それはかんたんなことではありませんでした。

日本のしょくばは、韓国のしょくばとちがうところが多いです。たとえば、あいさつのしかたや仕事の進め方、じょうしとのかんけいなどです。さいしょはとまどうこともありました。いえ、とまどうことしかありませんでした。会社のどうりょうとのコミュニケーションもむずかしいことがたくさんありました。そのため、韓国人であるぼくが日本で仕事をするとき、仕事のストレスやプレッシャーは、韓国とちがうかたちでたくさんかんじていました。

まわりの人たちの反応も、大事なポイントです。日本の家族や友だちは、さいしょは外国人のぼくに対してしんぱいすることがありました。しかし、ふたりがしっかり話し合い、家族にもきちんと言明することで、家族もりかいしてくれるようになりました。それでも、文化やしゅうかんのちがいからくるごかいやたいりつが完全になくなるわけではありません。

日本での生活は、新しいことがたくさんあり、毎日が新しい発見のれんぞくです。しかし、文化やことばのちがいをのりこえるためには、たくさんのどりよくとがまんがひつようです。おたがいに文化やしゅうかんのちがいをそんちょうして、楽しみながら生活することで、ぼくたちはしあわせな日々を送っていますが、そのうらにはたくさんのチャレンジがあることも忘れてはいけません。

■けっこんのてつづきと家族の反応

日本人と外国人がけっこんするには、いくつかのてつづきがひつようです。

ぼくたちの場合も、いくつかのステップをふんでけっこんしました。まず、役所に行ってけっこんのしよるいをていしゅつしました。

ひつようなしよるいには、こんいんとどけやパスポートのコピー、日本のじゅうみんひょうなどがあります。

ほかに、「こんいんようけんぐびしょうめいしょ」という外国人にはおぼえられないようなむずかしいしよるいもひつようでした。これらのしよるいをそろえるのにはたくさん時間がかかりましたが、彼女が手伝ってくれたので、スムーズに進みました。

まちがえたらいけないと思い、なんどもなんどもよくかくにんしました。

ちなみに、日本の役所でこんいんとどけを出したとき、役所の人「おめでとうございませす」と言ってくれました。

役所の人がかんなふうにしゅくふくしてくれるとは思ってもみなかったので、とてもおどろき、そしてうれしい気持ちでいっぱいになりました。

けっこんのてつづきが終わると、彼女の家族にせいしきにしょうかいされました。日本の家族は、外国人のぼくにたいしてさいしょは少ししんぱいしていました。

特に、彼女のりょうしんは、文化やことばのちがいが大きなもんだいになるのではないかとしんぱいしていました。しかし、彼女がぼくのことをよく説明してくれて、家族も少しずつりかいしてくれるようになりました。

はじめて彼女の家族と会ったときは、とてもきんちょうしました。彼女の家族はとてもやさしくむかえてくれましたが、しょくじのマナーや会話の内容に気がつかいました。とくに、日本の家族は、食事中にいろいろな話をするのがふつうのようです。そのころのぼくは日本語がまだあまりじょうずではなかったので、彼女がふうやくしてくれたり、かんたんな日本語で話してくれたりしました。

家族とのかんけいをきずくためには、時間とどりよくがひつようです。ぼくは、彼女の家族といっしょにすごす時間を大切にして、彼らの文化やしゅうかんをそんちょうするようにしました。たとえば、年末年始のしゅうかんや、おぼんのぎょうじにもぜったいにさんかするようにしました。

ぼくが好きな人の家族なので、家族のみんなもぼくを好きになってもらいたいという気持ちはたしかにありました。

しかし、ぼくがそういうぎょうじにぜったいにさんかするようにしていたいちばんのりゆうは、ぼくが彼女や彼女の家族をよくしりたかったからです。

このようなイベントをつうじて、時間をかけて、彼女の家族ともっとなかよくなることができました。

しかし、すべてがじゅんちょうに進むわけではありません。文化やことばのちがいからくるごかいやトラブルもありました。たとえば、ぼくのこうどうやことばがごかいされることがあり、そのたびに彼女と話し合っかいけつしました。

また、彼女の家族のきたいやかちかんに合わせる事がむずかしいとかんじることもありました。こうしたもんだいにたいしょするためには、おたがいにオープンに話し合い、りかいし合うことが大切です。

けっこんのてつづきと家族の反応については、たくさんのチャレンジがありますが、それをのりこえることで、おたがいのきずなが深まります。ぼくたちは、文化やことばのちがいをこえて、しあわせなけっこん生活を送るために、今でも毎日どりよくをしています。

■子どものきょういくとバイリンガルにそだてるために

日本人と外国人がけっこをして、子どもを持つことになる、子どものきょういくについてもいろいろなことを考えるひつようがあります。とくに、ことばや文化のちがいをどうのりこえていくかが大きなテーマとなります。

ぼくたちの子どもは、日本と韓国の文化をりょうほう持つこととなります。そのため、子どもが2つの国の文化をりかいし、そんちょうできるようにそだてる事が大切です。まず、ことばのきょういくについてです。ぼくたちは、子どもがバイリンガルになることをめざし

ています。日本語と韓国語のりょうほうを話せるようにするために、家の中ではぼくが韓国語を話し、彼女が日本語を話すようにしています。

また、子どもがしぜんに2つの国のことばを学べるように、絵本やテレビなども日本語と韓国語のりょうほうをよういしています。たとえば、韓国語の絵本をよんだり、日本語のアニメをみたりすることで、子どもが楽しくことばを学べるようにしています。さらに、子どもが日本の学校にかよいながら、韓国語のオンラインレッスンを受けることも考えています。

文化のちがいを教えることも大切です。ぼくたちは、子どもに日本と韓国の文化をバランスよく教えるようにしています。たとえば、日本のお祭りやぎょうじにさんかすることはもちろん、韓国のでんとうてきなイベントや食べものについても教えています。こうすることで、子どもが2つの国の文化をしぜんに受け入れ、楽しむことができるようになります。

バイリンガルにそだてるメリットはたくさんあります。まず、子どもが2つの国のことばを話せることで、しょうらいのせんたくしが広がります。また、ことなる文化をりかいすることで、いろいろなしてんを持つことができます。これは、こくさいてきな社会で生きていくうえで、大きなつよみになるはずです。

しかし、バイリンガルにそだてるためには、むずかしいこともあります。たとえば、子どもがことばのこんらんをかんじることもありますし、学校での友だちとの会話において、ことばのちがいがげんいんで困ることもあるかもしれません。こうしたもんだいに対しては、親がサポートして、子どもが安心してことばを学べるかんきょうをつくるのが大事だと考えています。

ぼくたちは、子どもが日本と韓国のりょうほうの文化を大切にし、自信を持って成長できるように努力しています。文化やことばのちがいを楽しみながら、子どもといっしょに学び、成長することができるのは、とてもすばらしいことだと思います。

■まとめ

こくさいけっこんは、とてもみりよくてきであたらしい発見がたくさんあります。文化やことばのちがいをのりこえて、ことなるはいけいを持つパートナーと共に生活することは、大きなチャレンジでありながらも、多くのよろこびと成長をもたらします。ぼくの場合、日本人女性とのけっこんをつうじて、たくさんのきちょうなけいけんをしました。

しかし、こくさいけっこんには多くのチャレンジもともないます。文化やことばのちがいからくるごかいはさけられません。そこで、こくさいけっこんを考えている人へのアドバイスをぼくなりて考えてまとめました。

①お互いの文化をそんちょうする

ことなる文化を持つことは、ちがいを楽しむことでもあります。お互いの文化やしゅうかんをそんちょうして、りかいしようとする考え方が大切です。たとえば、日本のでんとうてきなぎょうじや韓国のしゅうかんについて、せっきよくてきに学び、さんかすることで、お互いのりかいは深まります。

むずかしいこともありますが、2つの文化やしゅうかんがあるということは人生を2倍楽しむと考えることもできると思います。

②コミュニケーションを大切にす

ことばのかべは大きなチャレンジですが、お互いに話し合うことでかいつできます。ことばが通じないと感じたときには、ゆっくり話したり、かんたんなことばを使ったりする工夫がみつよです。また、メッセージや手紙を書くことも、思いを伝える良い方法です。

③じゅうなんなしせい

ことなる文化やしゅうかんに対して、じゅうなんなしせいを持つことが大事だと思います。お互いのちがいを受け入れ、じゅうなんにたいおうすることで、スムーズなかんけいをきずくことができます。

④サポートを求める

困ったときやなやんだときには、まわりの人にサポートを求めることも大切です。すべてを自分1人でかいつしようとしないうがよいと思います。家族や友人など、助けを求める先はたくさんあります。とくに、ことばのかべや文化のちがいからくるストレスをかんじたときには、むりをせずそうだんすることが大切です。

⑤きょうつうのしゅみやかつどうを見つける

きょうつうのしゅみやかつどうを見つけることで、楽しい時間をシェアすることができます。ぼくたちは、えいがかんしょうや旅行が好きで、いっしょにいるいるなばしよをおとずれたり、えいがをみたりしています。きょうつうのしゅみがあることで、お互いのきよりが近くなり、深いきずなが生まれます。

⑥ちょうきてきなしてんを持つ

こくさいけっこんには、たんきてきなもんだいがつきものですが、ちょうきてきに考えることで、これらのもんだいをのりこえやすくなります。お互いにとって大切なことを話し合、しょうらいについてのけいかくを立てることで、きょうつうのもくひょうに向かってきょうりよくし合うことができます。

また、自分たちもそうだったように、こくさいけっこんや恋人探しには「ペアーズ (pairs)」がおすすめです。ペアーズは、たくさんの人が利用している人気のマッチングアプリで、ことなる文化やことばのかべをこえて出会いをていきょうしてくれま。ペアーズをつうじて、あたらしい出会いやパートナーシップを見つけることができるかもしれま。きょうみのある人は、ぜひがいようらのリンクからペアーズにとろうくしてみてくださ。きっと、すばらしい出会いが待っています。

こくさいけっこんは、たくさんチャレンジとともに、多くのよろこびとせいちょうをもたらします。お互いの文化やことばのちがいを楽しみながら、いっしょに歩いていくことが大切です。ぼくたちのけいけんが、こくさいけっこんを考えている人たちにとって、少しでもさんこうになればうれしいです。

"日本人とのこくさいけっこん"はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

